

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年4月1日

事業所名 音楽療育特化型事業所リズムストーリー松原

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	100%	0%	上限定員が安全に利用できるようにスペース確保している。利用人数に合わせて支援スペースになっている。	音楽療育特化型支援事業所としての利用目的を明確にして事故防止の観点で環境を調べています。
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%	どの職員が休んでも療育に支障が出ない様配置されている。加配の必要な児童に担当職員をばいちしている。	音楽療育を行う上で必要な人数を配置することはもちろん、療育内容に支障がないように各職員のスキルアップに努めます。(音楽支援、療育支援)
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	療育室にカーペット(取り外し可能)を敷き角がないように工夫している。必要な視覚支援を配置バリアフリー化されている。	柵や動線の工夫で安全かつ快適に過ごせ、特性におうじて合理的配慮を行っています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	管理者指導の下、PDCAサイクルを徹底し職員全員が参画できるように工夫している。事業所内での会議と並行してエルダー制度を取り入れている。	PDCAサイクルの観点から職員全員が意見交換できる場を設けより良い支援を目指しています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	アンケート結果を周知し改善点を通信簿に添えて記載する等工夫しています。職員全員が把握し改善に努めています。より良い業務改善につなげていく。	ご意見についての検討会議を実施。共通理解を持ち支援に努めています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	弊社ホームページにて公開している。	アンケート結果についてホームページで公開していることを通信簿(リズム通信)でお知らせしています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	67%	33%	検討中	外部評価における業務改善を検討いたします。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	月に2~3回会社全体でのリモート研修、事業所内研修を行っている。その他の研修にも参加している。	今後もリモート研修、会議を行い内部研修(委員会研修等)を積極的に確保していきます。又並行して大阪府等のけんしゅうに参加し、資質向上を目指します。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	モニタリングを適切に行い半年に1度の面談の際に保護者様からのご要望を聞き支援計画の作成が出来ています。	利用者(子ども)のニーズを活かす支援宣言作成についての会議を開催しています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	標準化されたアセスメントツールを使用しています。	適応行動を把握し、病院、発達支援センター等での検査結果を持ちの方にはその結果表をご提示いただき
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	毎月、毎週職員でアイデアを出し合いながら立案しています。	全職員の意見を反映できるように工夫し、PDCAサイクルに基づき立案しています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	日々の支援の中で子どもの様子、季節、好み、流行りも取り入れ興味をもって参加できるように工夫しています。	新しいパネルシアター、新しい歌の楽譜、歌詞カードの準備を行い、プログラム内容の練習時間を確保しています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	職員会議で毎月、午前療育内容、午後療育内容長期休暇に合わせてプログラムを立案し、実行しています。	個別的には各家庭事情や子どもの様子、特性を考慮し注意点配慮必要事項詳細に聞き取りを行い、職員間で周知し、支援しています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	音楽療育、個別療育の中に子どもの状況に応じて適切な支援計画を作成している。	多面的に配慮した支援計画を作成し、社会生活に順応できるように必要な支援を職員間で周知し、作成しています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	朝礼や午後の子ども達が来所する前に必ずその日のプログラム確認、流れ、役割を話し合い、段取り、準備を行っている。	子ども達が混乱しないように配慮し職員全員で意識を持って支援できるスキルを身に付けていきます。又職員が意識して動けるように役割分担を決めています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	毎日ヒヤリハットの記入を行い、些細な事と思われる案件も必ず周知している。疑問点や確認事項を共有し解決できるようにしている。	当日休みの職員が支援内容や振り返り事項がわかるようにノートに必ず記入するようにしています。疑問点、困りごとを共有し、話し合い、必要であれば助言を行い解決しています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	療育後に毎日記入しています。子六を取り話し合うことで改善に繋げている。	支援記録に添って正確に支援内容を記入するように周知しています。送迎、出入りについても同様に正しく記録出来るように徹底しています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	6ヶ月に一度のモニタリングを行っている。常に似たリングしながら日々の支援に反映している。	日々のモニタリングでは支援方法の確認や計画に見直しが必要判断基準としている。それについて都度必要があれば職員会議を開催し、話し合い、見直しを執行している。6ヶ月1度のモニタリングでは保護者様と話し合いの機会を設け支援計画に反映しています。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせた支援を行っている。	基本活動の「地域交流の機会の提供」についてより多くの機会を作れるように検討していく。	

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	管理者がサービス担当者会議に参画し、内容を職員間で話し合い、共有している。	支援計画書の提示や、その子供の状況を正しく共有できるように準備しています。保護者様には会議に参画する旨をお伝えし、情報共有出来るように配慮しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	下校表を貰ったり、行事やトラブルについても連絡報告を受けられるように日ごろから連携を適切に行っています。	各学校でのルールがあるので正しく職員間で周知し、ルールに沿って対応出来るように配慮しています。ドライバーのみの送迎時や確認事項が必要となるときは必ず事業所と連絡を取り対応出来るようにしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	主治医の連絡先を登録し、必要があればすぐに連絡が取れるようにしている。看護士不在の旨をご理解いただき承諾を受け、受け入れ態勢を整えています。	弊社での医療行為はいたしていませんが、医療的ケアが必要であっても療育を受けている間しなくても良いと医師の診断書を提示していただき、受け入れ体制を整えば音楽療育に参加していただいています。年に数回、関係機関や他事業所との連携を取り情報共有に努めています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	情報共有と相互理解に努め管理者が引継ぎに努めている。	必要に応じて情報共有していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	50%	50%	現在移行される方のご利用がございません。	移行支援がスムーズにいくように今から準備いたします。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	常日頃から必要に応じて連携している。	今後も積極的に助言や研修を受けていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	17%	83%	今後検討していきます。	地域支援に繋がるような開かれた事業所を目指します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	地域の子ども部会に参加している。	今後管理者だけでなく職員も積極的に参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡ノートでの共有、重要事項や保護者様状況では電話や直接伝えられるように工夫している。	今後も子どもの発達の状況や課題について共通理解を持ち緊急事態に備えた体制の連絡網等万全に備えておきます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	必要に応じて		
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	保護者様に支援助言しています。困りごとや相談事に関して迅速丁寧にお返しています。	希望された際に定期的にトレーニングが出来るかどうか検討中です。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	管理者を通じて常日ごろから、相談しやすい環境を整え、要望に沿った助言・支援を行っています。	年2回の保護者面談だけでなく、連絡ノート保護者欄の活用や、送迎連絡時等でご相談に応じていただいています。又、お申し出により、個別面談の開催も実施しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	17%	83%	検討中です。	地域支援に繋がるような開かれた事業所を目指します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	管理者を通じて迅速に対応できるように体制を整えている。又会議での研修もあり職員全体のいしきも高めている。	迅速に会議を招集出来るように心がけています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	月に1回リスト通信を発行しプログラム内容や説明、児童の様子をお伝えしています。	緊急連絡やその他情報配信が必要な時はリスト通信以外で情報の提示を行っています。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	社内規約にも取り決めがあり、研修も行っている。	SNS等での情報漏洩についても十分気を配り防止に努めている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	視覚支援(絵カード)手話、声の大きさ、スキップで配慮している。	絵カードを学校でも私用している物と同じにしたり子どもたちが使いやすい理解しやすい工夫をしています。適切な対応出来ることを増やしていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	今後検討する。	地域支援に繋がるような開かれた事業所を目指します。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	開示用マニュアルを設置し保護者様がいつでも確認出来るようにしています。マニュアルを策定し、周知しています。	研修を行い職員間で情報共有しています。月の通信簿にて研修を行う旨をお伝えしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	防災委員会を設置し、月1回の研修と年2回の避難訓練を行っている。	訓練の様子、状況を月の通信簿(リズスト通信)でお知らせしています。今後必要なその他の訓練も検討中です。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	虐待防止委員会を設置。月1回ヒヤリハットを元に会社全体で研修を行い対応出来るようにしています。	職員研修と、個々の対応指導に取り組み全職員に周知しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	身体拘束防止委員会を設置。月1回ヒヤリハットや事例案件を元に会社全体で会議を行い対応しています。マニュアルを作成及び運用している。	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行う必要がある子どもについては保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しています。例 手をつなぎ指導員介助のもと音楽療育に参加しています。等 職員研修とここ対応研修に取り組み全職員に周知しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	すぐに確認出来るようにシंक横に掲示し間違いないように徹底管理しています。	おやつや昼食時、職員間で必ず確認し合い安全に配慮している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	毎日ヒヤリハットを記入を徹底し、些細な事も見過ごさず事故等未然に防止出来るように心がけている。	適正委員会を設置しています。マニュアル作成及び指針を作成運用しています。職員研修と、個々の対応指導に取り組み全職員に周知徹底しています。